

やっぱり 看護が好き

vol.

75

2022.3.1

Interview

その人らしく自宅で療養生活を送れるようにサポートする

医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック訪問看護ステーション 管理者 岡野さやかさん

ナースバンク通信

東京都ナースプラザにおける
新型コロナウイルスワクチン接種研修

プラチナナース就業継続支援事業 職場体験会

台東区立老人保健施設千束での
職場体験会をレポート

私の復職ストーリー 第7回

西麻布インターナショナルクリニック
ベノリエル・セレナさん

- 2021年度 アウトリーチ型定着促進支援事業
- オンラインでの「ネットワーク研修」を行っています
- 2022年度 新人看護職員研修のご案内

Interview

おかの 岡野さやかさん

医療法人社団三育会
新宿ヒロクリニック訪問看護ステーション 管理者

国の在宅医療への後押しもあり、訪問看護、訪問診療の需要が高まっています。さらにコロナ禍において病院での面会制限等もあり、自宅療養を望む人も増えています。そのような社会的な変化の中で、訪問看護の現場はどのように変わったのでしょうか。新宿区の訪問看護ステーション管理者である岡野さやかさんに、訪問看護師としての活動、やりがいについてお話を伺いました。

Profile

大学の社会福祉学部を卒業後、看護専門学校に進学して看護師資格を取得。総合病院やがん専門病院で約8年間働いた後、現在のステーションの前身である新宿ヒロクリニックの訪問看護部に入職し、訪問看護師として活動。2019年6月に三育会訪問看護ステーションとして独立し、2021年4月より現在の名称に変更、管理者となる。

その人らしく自宅で療養生活を送れるようにサポートする

コロナ禍の医療ひっ迫状況では 職種を超えて協力し合う

―ステーションの概要と特徴を教えてください。

訪問エリアは新宿区を中心に隣接する渋谷区、中野区などで、365日24時間対応しています。約9割が併設のヒロクリニックの患者さんで、神経難病、心不全、糖尿病、腎不全などの慢性疾患、がんのターミナル、認知症など、小児と精神疾患以外はおおむね対応しています。

―コロナ禍で業務の変化はありましたか。

まず、ソーシャルディスタンスを考え、ミーティングや



ほとんどが自転車での訪問。場合によっては直行、直帰になることもある。

申し送りはすべてオンライン会議で行うようになりました。同じフロアにいても、距離を取って座り、アクリル板を活用しています。

もう1つは、新宿区保健所からの委託業務で、自宅待機中のコロナ陽性者の電話による健康観察を行っています。コロナ第5波の8月は68件にも及びました。

―その中で最も大変だったこと、印象に残っていることは何ですか。

訪問先の患者さんが発熱した場合、PCR検査をしたり、PPE(個人用防護具)装着での介入が必要になります。そうすると、普段通りの介護サービスを利用できなくなる場合もあり、生活が成り立たなくなってしまうということもあります。そういった場合は、職種を超えて協力し合いながら在宅の患者さんを支えていました。

病気目線から生活目線への 切り替えが大切

―訪問看護師を目指したきっかけを教えてください。

大学の社会福祉学部在学中に通所リハビリでアルバイトをしていたとき、その看護師の働く姿を見て、看護師になって地域で働きたいと思い、大学卒業後に看護専門学校に入りました。病院でがんや



新宿ヒロクリニック併設のステーションであるため、約9割がクリニックの患者さん。そのため、訪問診療医との連絡、打ち合わせは、カルテを共有し、対面で行うことも多い。



コロナ禍以降、飛沫防止、ソーシャルディスタンスのため、ミーティングはすべてオンラインで行うようになった。机は隣り同士でも、会話や情報共有はすべてパソコンを通じて行っている。

慢性疾患の看護を8年経験した後、当クリニックの訪問看護部に入職し、かねてから希望していた訪問看護師としての活動を開始しました。

一訪問看護師になり、患者さんへの看護、ご家族との関係で印象に残っていることはありますか。

当ステーションはがんのターミナルの患者さんも多く、1ヵ月に5～9件の看取りがあります。その中に子宮がん末期の患者さんがいました。その方の最期は、私も含め息子さんやご姉妹など大人数でベッドを囲み、たわいもない話をしている中で、静かに息を引き取られました。「穏やかに亡くなるというのは、こういうことだ」と、この方が身をもって教えてくださったと感じました。

一訪問看護師として大切にしていること、やりがいは何ですか。

その人らしい生活を継続していただくために、療養環境をいかに整えていくか、病気目線ではなく生活目線を大切にすることです。また、地域の福祉サービスを患者さんに活用してもらえるように、福祉や介護の関係者と連携して、患者さんの満足につなげられたときにやりがいを感じます。

自宅療養ではご家族のケア参加も大きな力になります。患者さん同様、ご家族の心身のサポートも訪問看護の大きな役割だと思っています。その中で患者さんをサポートする「チームの一員」として、同じ目線でご家族と相談し合いながら、身体ケアや点滴管理等のケアを確立していった時に、看護師としての喜びを感じます。

一訪問看護師に興味のある人にメッセージをお願いします。

病院では病態の変化など、何かあればすぐに医師やスタッフに相談でき、サポートが得られますが、訪問看護師は一人で訪問するので、責任も重く大変なのではと感じる方も多いと思います。私も最初はそこが不安でした。実際はスマホの多職種連携ツールを利用し、常に情報共有をしており、例えば褥瘡などの疑いがあればその場で写真を撮り、医師や他の看護師に相談することもできます。

また、訪問看護が未経験な方には、最初は必ず先輩看護師が同行し、段階を踏んで一人立ちしていきます。ナースプラザの復職支援研修を当方でも実施しているので、それも活用していただき、ぜひ私たちと一緒に地域での看護を支えてほしいと思います。



クリニックの2階が新宿ヒロ訪問看護ステーション。看護師は常勤8名、非常勤4名の合計12名。

東京都ナースプラザにおける新型コロナウイルスワクチン接種研修

新型コロナウイルスワクチンは、短い期間で多くの人に接種することが求められました。また国内ではこれまであまり行われていなかった筋肉注射による接種のため、東京都ナースプラザでは、ワクチン接種を安全に行うための研修を6回開催しました。

開催日

2021年7月4日(日)、7月11日(日)、
7月18日(日)、9月26日(日)、
10月31日(日)、11月28日(日)

合計972名が受講され、50歳代がもっとも多く参加されました。

東京都看護協会会館3階研修室で開催し、研修内容は、ワクチンについての講義が30分、筋肉注射のシミュレーターを使った注射手技やワクチン充填などの実習が50分です。



プラチナナース就業継続支援事業 職場体験会

新しい世界をのぞいてみませんか

～台東区立老人保健施設千束での
職場体験会をレポート～

東京都の2021年(令和3年)度新規事業として始まった「プラチナナース就業継続支援事業」。その1つである「職場体験会」は、おおむね50歳以上の看護師を対象とした半日の体験コースです。体験施設は高齢者介護施設や訪問看護ステーションなどです。今回は2021年10月29日に行われた、台東区立老人保健施設千束での職場体験会をレポートします。

スタートは午後1時30分。まずオリエンテーションで、参加者は自己紹介し、参加動機などを話しました。今回の参加者は3名。クリニックや地域包括センターなどに勤務されている方々です。

オリエンテーションの後、看護・介護部統括部長である中野博美さんから、同施設の紹介や介護保険制度、高齢者施設における看護師の役割などのお話がありました。

午後3時からは、メインの施設見学と看護体験です。参加者それぞれに同施設の看護師が付き添い、ペアで施設内の見学や他職種カンファレンスへの参加、日常生活援助などを実際に行いました。

参加者からは「実際に施設で働いている方の声を聞いてよかった」、「病院と施設の違い、生活の場を見ることができた」、「体験したことで施設のイメージができた」などの感想をいただきました。



オリエンテーションでは参加者3名の参加動機などを含めた自己紹介が行われました。



中野看護・介護部統括部長から施設概要、同施設での看護師の役割などの紹介がありました。



それぞれ分かれて見学・体験をします。看護師のバイタルサイン測定の様子を見学。



施設の看護師が参加者に付き添い、実際に医師の診療介助を体験してみます。

参加者の感想をいくつかご紹介します



ワクチン接種業務に従事していますが再確認ができ、今後も安心して業務ができます。

久しぶりの筋肉注射にとまどいました。手技を忘れていたが多かったので、実習で確認できたのはとても良かったです。今後に活かしたいと思います。



実習があったので自信につながりました。

手技を練習する機会がないのでとてもためになりました。見学だけでは心配なので、実習ができて良かったです。



復職にむけて自信ができました。

看護の仕事から離れていましたが、実習で感覚を取り戻せました。



学生時代に学んだ筋肉注射の方法と現在の方法では変更点があり、新たな学びとなりました。学んだことを今後に役立てたいと思います。

中野博美 看護・介護部統括部長からのメッセージ



これまでの経験を活かすには、新しいことを取り入れる柔軟性が必要です

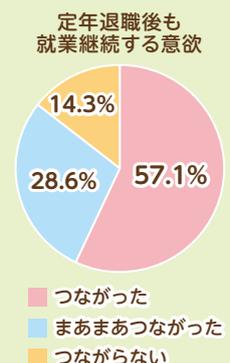
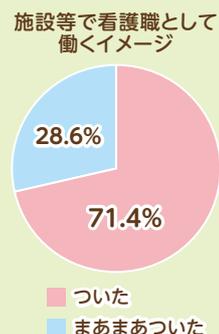
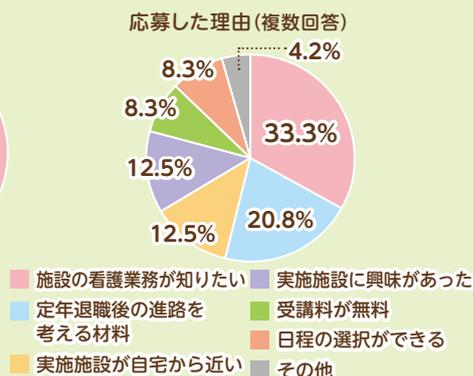
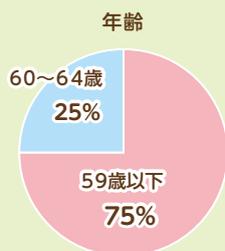
当院の定年は60歳ですが、看護師たちに定年を見据えて準備をしている人は少ないですね。また、当院は医療・介護一体型の施設で、下部が病棟で上部の6階から8階が老人保健施設です。当院ではベテランナースを中心に、ローテーションに老健を組み入れて、老健の質向上への関与と将来を見据えた働き方を考える機関としています。

施設で働くには病院看護師と施設看護師の役割の違いも、しっかり理解しておくことが大切です。たとえば病院は治療が目的で、介護施設は生活することが目的です。また、ケアを提供するのは介護士が主体で、看護師は裏方です。このような役割の違いを、ぜひ現場で体験してほしいですね。

ひ現場で体験してほしいですね。

プラチナナースには、これまで培ってきた豊富な経験があります。それを活かすためにも新しいことを取り入れる力、柔軟性が必要です。たとえ定年後に今の職場で働き続けるとしても、これから病院はIT化が進みますし私たちが取り巻く医療制度、介護保険制度も変わっていきます。そうした変化に柔軟に対応できる力が、プラチナナースにも求められていると思います。

参加者アンケート



私の復職ストーリー

— 研修への勇気ある一歩で、世界が広がる —

第7回

西麻布インターナショナルクリニック
ベノリエル・セレナ さん



復職支援研修で、日本で看護師として働く勇気と自信をもらいました

日本語能力試験から看護専門用語や看護学まで7年間かけて勉強し、国家試験に合格

フランスで看護師として働いた後、日本の文化を勉強するために日本へ留学したのですが、留学後も日本の会社で働いていました。そんな中で日本人の夫と出会い、結婚。日本に定住することが決まり、看護の仕事日本を日本で再開したいと思いました。

日本で看護師として働くには、日本語能力試験に合格し、いろいろな審査をパスしてやっと看護師国家試験の受験資格が得られます。そのため約1年半、日本語を集中的に勉強して日本語能力試験を突破。それから日本語の看護専門用語や看護学校で学ぶ内容を勉強し、7年後の2020年3月に国家試験に合格して、晴れて看護師資格を取得しました。

ちょうどコロナ禍が始まった頃で、次の問題は就職でした。ナースプラザで3日間の再就業支援研修を受けて、病棟での看護も体験したいと思い、続いて復職支援

研修の7日コースを受けました。この研修を通してフランスで看護師として働いていた頃を思い出し、再び看護師として働けるという勇気と自信を得ることができました。

ゆっくり復職するためにクリニックに入職。 診療介助、処置から通訳、英訳までこなす

最初は病棟勤務を希望していましたが、看護師としては10年間のブランクもあり、まだ日本語や看護技術に不安があったので、ゆっくり復職できる環境をと、当クリニックに入職しました。

当クリニックは内科から外科、小児科、予防接種、健診まで、幅広い領域に対応しているので、日々の仕事から学べることが多く、また、3~4割が外国人の患者さんなので、文化の異なる患者さんと接することで勉強になります。一番大変に感じたことは敬語などの言葉遣いですね。

主な仕事は外科的処置などの診療介助、採血や注射、点滴のほかに、薬や医療物品の在庫管理もしています。特に薬についてはリスト化し、フランスの薬剤名と照らし合わせながら覚えています。

いずれは病棟勤務をしたいので、まずはここでしっかり看護の基礎を身に付け、スキルアップしたいと思います。

私のようにブランクや言葉のハンディがあっても、勉強したい、看護師として働きたいという気持ちがあれば、こうして復職できます。復職支援研修を受けて現場に出てみると、看護師としてまた働きたいという思いが出てくるので、ぜひチャレンジしてみてください。

西麻布インターナショナルクリニック ベノリエル・セレナ さん

2012年3月にフランスの看護師資格を取得して病院勤務後、日本の文化を学ぶために留学。その後、英語やフランス語の講師として日本で働き、日本語能力試験などを経て、2020年3月に日本の看護師国家試験に合格。2020年10月に西麻布インターナショナルクリニックに入職。



オンラインでの「ネットワーク研修」を行っています

都内の200床未満の病院への看護職員定着促進のための支援の一環として、オンラインでの「ネットワーク研修」を実施しています。実施した3施設の研修と、その参加者のご意見を紹介します。



世田谷区 S病院

テーマ「災害時(コロナ感染症を含む)における医療連携のために」 参加人数105名

- 院内の防災委員会にも伝達できる内容で、「業務継続の考え方の共通指標」を持つことの重要性を学ぶことができました。
- 今後の災害時の問題を具体的に解決するためのワークで、意義のあるものだと思います。病院の災害を継続的に説明していただいたことは臨場感があり、日ごろから具体的な対策を講じておかないと命を落とす危険性があることを、まざまざと感じました。

江東区 I病院の研修

テーマ「身体拘束ゼロのケア」 参加人数163名

- 様々な工夫をご紹介いただき参考になりました。身体抑制をしない取り組みには、看護師はもちろん医師を含めたすべての職種の意識改革が必須だと思いました。
- 他施設の取り組みは参考になることが多いが、看護職員だけではできないこともあります。病院全体で拘束ゼロを理念に掲げ、組織トップが先頭に立つことが必要だと改めて思いましたが、現場からも行動に移していきたいと思いました。

府中市 K病院の研修

テーマ「ナラティブの活用方法」 参加人数168名

- ナラティブというワードは耳にしたことはありましたが、具体的な内容を知らなかったのでもとても勉強になりました。病院のコンセプトだけでなく看護部・病棟・個人でも立案してみることで、現場で提供したい看護が何なのか、より具体的に出てきました。

多くの方々が「ネットワーク研修」に参加しています。

クリニック院長より一言

セレナさんの日本語力は申し分ない。
看護技術を磨いて、
さらなる上を目指してほしい。

三上 哲 先生



セレナさんは日本語も堪能で、バイリンガルだけでなくバイカルチャーのところが魅力です。どうしてもクローズドになりがちなスタッフのコミュニケーションにいいムードを持ち込んでくれたり、日本に住む外国人という視点を彼女が気づかせてくれることもあります。

今後、看護技術や患者さんのアセスメント力などの看護能力をブラッシュアップできるように私も指導していきますが、勤勉で几帳面なセレナさんなら、さらなるレベルアップができると期待しています。

西麻布インターナショナルクリニック

東京都港区西麻布3-17-20 LY西麻布2階

内科、外科、小児科、泌尿器科、訪問診療・往診、自費診療、人間ドック・遺伝子検査、予防接種、特定健診などを行う。

患者さんの3、4割が外国人。医師は院長、非常勤医師ともに英語、中国語で対応が可能。またスタッフも全員英語での対応が可能。



「新人看護職員フォローアップ研修 第2回」

2021年10月29日(金)
9:30~16:30



新人看護職員研修の受講者を対象とした2年目フォローアップ研修が開催されました。プログラムは、医療安全の基本、ストレスマネジメント、レジリエンス、2年目の看護職員同士の情報交換でした。参加者の感想をいくつかご紹介します。



Aさん
グループワークを織り交ぜての講義で、他の人の意見を聞くことができ、とても有意義な時間でした。今、つらいことがあっても、自分のポジティブなことを見つけていきたいです。



Bさん
毎日働いている中で焦ることも多いのですが、今回学んだマインドフルネスを活用して、少しでも落ち着いて行動できるようにしようと思いました。



Cさん
今、自分が考え悩んでいることに対して、どのように乗り越えていくかを学びました。また、同じ2年目の看護師として頑張っている方々とお話ができ、励みになりました。

2022年度新人看護職員研修のご案内

例年、新人看護職員研修は3日間のところ、2022年度は7日間へ日数を増やし、患者さんとのコミュニケーションの強化をベースに新人看護師としての基本的知識を学べるように研修を計画しました。実際の現場でも学べるように「臨床実習」も計画し、自身の看護に活かせる学びを得られるようにしています。

研修名	科目
新人看護職員7日間研修	社会人基礎力
	ストレスマネジメント
	情報診療と看護記録
	医療安全
	フィジカルアセスメント・急変時の看護
	病院実習
	実習の振り返り
看護倫理	

研修名	科目
新人看護職員2年目フォローアップ研修	チームメンバーの役割
	感染管理
	保険・医療・看護の動向
	医療安全
	医療安全

研修名	科目
新人看護職員3年目フォローアップ研修	退院支援・意思決定支援
	せん妄のケア方法
	リーダーシップ
	クレーム対応



表紙の写真

東京タワーと鯉のぼり

端午の節句が近づく季節に、東京タワーでは高さ333mにちなんで333匹のカラフルな鯉たちが空を泳ぎます。



つれづれ……

「いったいつまで続くのか…!」と、コロナ禍に言っただけで、私だけではないでしょう。でも、コロナ禍だからこそ見られた・聞けた看護職の活躍もあり、それに感心したり、感動したりと心動かされます。そんなことを、この冊子を通してみなさまと共有できれば…と思っています。

佐藤 浩子



ナースバンク東京 東京都看護協会会館2階

所在地: 新宿区西新宿 4-2-19

- 都営大江戸線 西新宿五丁目駅 出口A1・A2から徒歩4分
- 東京メトロ丸の内線 西新宿駅 2番出口から徒歩10分

ナースバンク立川

所在地: 立川市曙町 1-21-1 いちご立川ビル 6階

- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
- 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ

検索

ホームページ <https://www.np-tokyo.jp/>
Eメール np@np-tokyo.jp



ナースバンク東京 TEL 03-5309-2065